



## 「少年メッセージ 2017」和歌山県大会

7月22日(土)、串本町文化センターにおいて「少年メッセージ 2017 和歌山県大会」が開催されました。県内各地の中学校より応募のあった11,107作品の中から各地方予選会を経て、選ばれた18名の中学生が集まり、今だからこそ感じることのできる思いや将来の夢を発表しました。

伊都橋本地方の代表として、高野山中学校 岸本 <sup>あんず</sup>杏都さん、眞野 <sup>たかき</sup>貴気さんが発表し、作文内容と発表を合わせた審査の結果、【自分を信じて】と題し、発表した岸本さんが金賞を受賞しました。

岸本さんは、中部・近畿ブロック大会（原稿及びテープ審査）へ和歌山県代表として推薦され、中部・近畿ブロック代表に選ばれますと、11月12日(日)、東京都で開催される「少年の主張全国大会」へ出場することとなります。

発表内容は4、5ページへ掲載しています。

vol.38

9  
2017

昔から今も残る高野町内の名所シリーズ

23

# 心字池(高野山)

一心院谷にある金輪塔のすぐ近くに一心院谷の地名

の由来ともいわれる心字池という池があります。『紀伊統風土記』や『紀伊国名所図会』の記述をみると、この心字池は空海もしくは行勝上人(1130~1217)が造ったともいわれる池であり、一心の形をした池(心字池)があったことから、この池のあった寺院を一心院、地域を一心院谷と呼ぶようになったようです。

心字池の過去の姿を江戸時代の絵図でみると、金輪塔の横に不動堂(明治期に壇上伽藍に移築)があり、その前面に2つの池が描かれています。池は2つともCの字のような形をしており、東の池の中央には訶梨帝母(鬼子母神)を祭った祠が描かれています。一心院谷は中央に道路が造られ大きく景観が変化していますが、現在も金輪塔近くの道路脇にC字形の池が一つ

が、この池と黄菖蒲の茂る低地が心字池跡になります。

さて、一心院谷の地名の由来にもなった心字池は、なんのために造られた池なのでしょう。伝承を重視すれば、鎌倉時代初期までには造られていた池で、当初から一心の形を表すような複雑な形をした池であり、用水のためというより池の形を楽しむために造られたと思われる。

また庭園の世界では、心字池とは必ずしも「心」の形ではなく池の複雑な汀線を楽しむための手法とされていること、池が不動堂の前面に造られていたことを併せて考えれば、心字池は鎌倉時代初期、一心院境内に造られた池泉式の庭園の一部の可能性があり、もしかすると、高野山最古の庭園であるかもしれない、非常に重要な遺構です。(教育委員会)

の東側には鬼子母神を祭った祠があり、その周囲は湿地を好む黄菖蒲の茂る低地となっています。池の姿は多少変わってしまっています



高野山全図(部分) 1795年



現在の心字池



黄菖蒲の茂る心字池跡

## 9月の主な行事

9月10日 町民ゴルフコンペ

9月16日 高野山学

9月20日

御遠夜ナイトウォーク

9月21日 報恩高野市

## 今月の俳句(富貴俳句会)

夏野菜朝の取り入れひと巡り

中垣内 富貴代

雨を乞う四葩の花に母徳ぶ

南 ひとみ

くちなしの甘き香りよあの頃よ

角田 久栄

雨あがり螢飛び交う富貴の里

富樫 公子

池の底影ゆらゆらと井守這う

油田 英子

このコーナーでは、町民の皆様からの俳句・川柳などを掲載いたします。ふるってご参加ください。掲載希望の方は企画公室企画広報係(☎56-2932)まで!

金剛峯寺  
通 信

# 勸学会について ①

高野山は奈良・京都などの仏教都市と比較しても、僧侶と出会う機会が非常に多い場所です。町なかを歩けば、大勢の参拝者に紛れて若い僧侶が黙々と歩く姿をよく目にし、観光地とは違い、いままなお日常的に僧侶の実生活が営まれていることがよくわかります。その中でも、黒い衣に白い袈裟をつけた若い僧侶の姿が印象的です。彼らの多くが高野山高校・大学で真言密教を学ぶ学生ですが、本来、あの装束は「勸学会」を受けることを競望した「学侶」の正装なのです。

勸学会とは、高野山の教学を学ぶための伝統的な行事で、経典やお大師さまの著作について論議を行う場です。教学を研鑽する場はお大師さま在世時から設けられていたようですが、鎌倉時代・北条時宗の支援によって山上に勸学院・修



学院が建立されたころ、いよいよ高野山の学問は最盛期を迎えました。しかし、南北朝の動乱のあおりを受けた高野山では学問も衰微したそう

で、応永十三(一四〇六)年に、

学侶の集会の時に高野山の両大明神の託宣があったといわれています。それは、高野山の学問が衰微したことを嘆いた明神様が、高野山の護法を諦めて高天原に帰るというお告げでした。これに大慌てした学侶達が、当時仏教論議の盛んであった奈良・興福寺に遊学し、「堅精(りっせい)(広報高野VOL.34参照)」を学び、高野山に持ち帰りました。以降、高野山の教学の研鑽は問答・論議を核として現代にまで伝えられているのです。

勸学会は、この堅精を終え学頭となつた阿闍梨が弟子を募り、高野山の教学・学道を指導する行事です。学頭のもと、新たに学侶の門を叩く若い僧侶を「新衆」といい、問答を通して高野山の僧侶としての作法や教学を学ぶのです。

論議の練習を重ねた新衆は、旧暦八月一日から一巡問講・十日廻し、二日廻しといった練習期間を経て、いよいよ壇上伽藍の勸学院にて「本会」を迎えます。はじめはおぼつかなかった論議も、この頃には流暢なものとなり、朗々とした僧侶達の声が、早朝の壇上伽藍に響きわたります。次号では、勸学会の新衆を通して、高野山学道の世界をお伝えします。(つづく)

## 【問い合わせ】

高野山真言宗 総本山 金剛峯寺

☎0736-56-2001

## ご存知ですか？ 公共施設について

### 公共施設マネジメントゲームの開催

公共施設の維持管理について、住民のみなさまに現状を知っていただくため7月24日に公共施設マネジメントゲームを開催しました。

この公共施設マネジメントゲームは、2030年の人口等を考慮しながら、公共施設の現状と課題・今後について考え、公共施設マネジメント案を作成していただく、住民参加型のゲームです。

公共施設マネジメントとは、公共施設を活用して町を元気にするため、あまり使われていない施設を別のことに利用したり、老朽化した複数の施設を一つにまとめたり、複合的な施設を建築するなど、決められたエリア内の公共施設のあり方を検討する公共施設の整備計画のことです。

当日は、中学生の方から、一般の方まで幅広い年齢層の方々にご参加いただきました。実際に高野山会館を含め8施設を視察し、老朽化の程度や利用状況について確認していただきました。その後、グループに分かれ、各エリアの公共施設のマネジメント案の作成を行っていただきました。

マネジメント案では、学校施設について老朽化が進んでいる部分がありますが、卒業生や先輩たちの思い出が詰まった施設であり、大切に利用していること、生徒数が少なくなってきたので規模を小さくして木造校舎を建設したらどうかという中学生からの意見や『郷土資料館』にある文化財を観光で来られている方などに紹介できる別の施設に移転・展示する改修案など『もつと多くの方が利用したくなる施設・現在のまちの規模にあった施設』などをコンセプトとした整備計画が発表されました。

ゲームを通して参加者から「この公共施設を利用したくない」「うまく活用されていない」などの意見もありました。

今後も今回のような取組を継続的に実施し、町民の皆さまとともに、本町の公共施設の将来について、話し合いができればと考えております。

本コラムを通じて、町民の皆様が公共施設等の現状を報告し、幅広く皆様から、ご意見をいただきたいと思っております。次回コラムでは、「公共施設の維持管理」について、報告いたします。

【問い合わせ】総務課 管財係 ☎0736-56-3000

FAX 0736-56-4745

Mail : soumu@town.koya.wakayama.jp



# 【少年メッセージ2017 和歌山県大会】発表内容

## 自分を信じて

高野山中学校三年 岸本 杏都



小学校一年生の春、デイズニールンドでショーを観た日から、私の夢はテーマパークダンサーになることだった。

「なりたくない。でもなれるかな。」と夢に自信を持てずにいたが、今年の春、ある出来事をきっかけに「絶対になつてみせる」と強く思うようになった。

私がつ通っているダンススタジオオでは二年に一度大きな発表会がある。発表会では毎回テーマに沿った曲を踊る。今年のテーマはテーマパーク。特別にテーマパークダンススタジオの人達のゲスト出演が決まった。その時、先生から

「ゲストの人達と一緒に踊らな  
い？」  
と声をかけられた。プロに囲ま  
れてのダンス。チャンスだった。  
けれど、私は

「考えさせてください。」

としか答えられなかった。理由は、たった五回のレッスンで覚えられるか不安だったことと、「テーマパークダンスは自分に合っていないのではないか。」と自信を無くしていたからだ。ジャズダンス、バレエ両方の技術と高い表現力が必要とされるテーマパークダンスを、私は練習で上手く踊れていなかった。そんな私に、母は、

「こんな機会滅多にないんやし、あんたの夢であるテーマパークダンス踊れるんやで。経験はたくさん積むといい、踊り！」  
と言ってくれた。不安ながらも、踊ることに決めた。

レッスン初日、先生から「ワシマンズドリームを踊りま  
す。」と発表があると、周りから「ワーツ」と歓声が上がった。そのう、ワシマンズドリーム、通称ワシマンはデイズニールンドダンサー誰もが憧れるショーであり、ワシマンこそ、私が小学一年生の時に見たショーだった。

初回レッスンでの振り付けは  
とても難しかった。家に帰り、  
レッスン時の動画を観ると、テ

ンポがずれて振り付けを覚えら  
れていない自分が嫌な程目立っ  
ていた。動画は一回観るだけで  
精いっぱいだった。

翌日、もう一度動画を観た。  
心の中がざわつくのを感じた。  
このまま自分が作品を台無しに  
してしまつてもいいのだろうか。  
この気持ちをきつかけに、毎日  
自主練に励んだ。不安だった振  
り付けを最後まで覚えることが  
できた。この時、気づいた。私  
は努力もせずにテーマパークダ  
ンスは自分に合っていないと逃  
げていただけだった。努力は嘘  
をつかないというのは本当だ。

練習を重ね迎えた当日。深く  
深呼吸をして舞台に立つ。最後  
まで踊りきった。楽しくて堪ら  
なかった。初めてテーマパーク  
ダンスを踊ることが好きだと  
思った。本番後、先生に、「よく  
頑張ったね。ここまで成長する  
と思わなかった。」  
と声をかけていただいた。涙が  
止まらなかった。この時、「テー  
マパークダンサーになる」と強  
く思った。

もし、先生の誘いから逃げて  
いたら、もし、母に背中を押し  
てもらってなかったら、きっと  
ここまで強く思うことはできな  
かた。

私は、多くの人に背中を押し

れて夢を追っている。しかし、  
夢を持ってない若者が多いとよく  
耳にする。実際、中学3年生の  
私の周りでも、将来の夢がわか  
らず悩む友達が多い。私は好き  
なことは誰にでもあると思う。  
一方で、自分の気持ちに蓋をし  
ている人が多いように感じる。  
なぜだろうか。人と違うことを  
すれば、周りに変に思われるの  
ではないかという不安。一定の  
枠に入らないと批判する世間の  
目…。

今回の体験から分かったこと、  
それは、何事も恐れずに挑戦し、  
諦めずに努力することだ。ウォ  
ルトデイズニールンドはデイズニール  
ンドの建設を302回断られた  
そうだ。ワシマンの歌詞には、  
彼の言葉が入っている。

『夢を見ることができると、そ  
れは実現できるんだ。いつだつ  
て忘れないでほしい。何もかも  
全で一匹のねずみから始まった  
ということ。』

私は、ダンスを通して、自分  
を信じる気持ちの大切さを伝え  
ていきたい。夢に自信をなくし  
ている人がいたら、背中を押し  
たい。私の夢はもう憧れではな  
い。テーマパークダンサーにな  
るといふ目標を達成するため、  
私は、努力し、挑戦し続ける。  
自分を信じて。

# 【少年メッセージ2017 和歌山県大会】発表内容

## 美しい村を守る

高野山中学校三年 眞野 貴気



ここ花坂だったのです。

しかし車社会になり、参拝時に花坂に泊まる人はいなくなりました。家からコンビニまで車で三十分、学校まではバスと徒歩で四十五分も掛かるので、いつも不便に感じています。仕事も遊ぶところもない村では若者は都会に出て人口も減り、過疎化、そして少子高齢化が進んでいます。

しかし、僕は

僕は、周りを山に囲まれた花坂という地域に住んでいます。花坂は世界遺産である高野山のふもとにあり、かつては高野山に参拝する人々で賑わう宿場町でした。

名物はあつさりとしたあんこを薄めの餅で包み、香ばしく焼いた「やきもち」です。昔の参拝客はとても長い道のりを歩きました。そんな参拝客の疲れを癒したのが、やきもちであり、

花坂が好きです。勿論生まれ育った所だから住み慣れているというのもありますが、花坂は自然が美しく、伝統のある村だからです。

春の爽やかな新緑、夏の夕立、秋に金色に輝く稲穂、冬の雪景色など、四季折々の風景は最高です。

花坂の伝統文化には、毎年八月十五日に開かれる村の小さな夏祭りで奉納される「鬼もみ」

があります。本来、悪と捉えられる鬼ですが、花坂の鬼は違います。鬼を神でもみ、お祓いをし、五穀豊穡を祈るのです。僕は鬼もみをモチーフとした伝統的な太鼓グループ、「花坂鬼もみ太鼓保存会」というグループに所属しています。力強く躍動感のある曲が持ち味で、毎年夏祭りだけでなく、県内の様々なイベントに出演して鬼もみ太鼓を広めています。「伝統を後世に伝えねばならない」という思いで僕は太鼓を叩いています。

自然、文化、美しいこのふるさと、このまま過疎化・少子高齢化が進むと十年後どうなっているかわかりません。伝統あるこの村をどう守っていくか、それは僕たちの世代が直面している大きな課題です。

今、テレビでは北朝鮮のミサイル発射などの国の争いに始まり、国内では会社の偽装、殺人、いじめなど暗いニュースが並びます。それらを観るたび僕は心が痛みます。国境のない現代社会、競争社会は人の心を疲れさせているのではないのでしょうか。

僕は将来、この地域の素晴らしさを、インターネットを通じて発信したいと考えています。幸いにも、高野山には世界中か

ら観光客が訪れます。まず、花坂を知り、宿泊体験や農業体験をしてもらえれば、心の中が癒されていくのを感じるはずだと思います。人が集まれば仕事は生まれます。かつて参拝客の身体を癒した地を、次は心の癒しの地として、再び活気ある村にしていきたいのです。

この村が元気になれば、その力は周囲へと広がっていくはず。花坂から、日本全体に、明るいニュースを発信していきたいと思えます。

僕は、花坂が大好きです。いつまでも村の存続を願います。かつてのような活気を取り戻すため、人と心を受け入れて、必ず僕が、僕たちが、この美しい村を守ります。



# イベント開催のお知らせ

地域づくり交流フェスタ 2017  
**「高野町 交流ひろば」**  
 ～知ろう！つながろう！みんなの活動、みんなの想い～

地域づくり交流フェスタ 2017 “高野町交流ひろば” を開催します！

昨年は、新鮮地元野菜や自慢の加工食品の販売、うまいもん屋台、ものづくり体験など、高野町で活動している団体・グループ・個人の皆さまにご出店いただき、多くの来場者で賑わいました。

今年も子どもが喜ぶイベントを企画しておりますので、家族・お友達お誘い合わせの上、お越しください。

## 秋の紅葉が色づく森林公園で“作る喜び”“ふれあう楽しさ” 笑顔で満ちた楽しい時間を過ごしましょう！

【開催日時】 平成 29 年 11 月 3 日(金) 文化の日 10:00～16:00

【開催場所】 高野山森林公園

【平成 28 年度 交流ひろばの様子】



木くずのプール



新鮮野菜の販売

## 出店・参加者を募集します！

【出展料】 無料

【募集締切日】 平成 29 年 9 月 22 日(金)

【出店条件】 高野町で活動している団体・グループ・個人の方の参加に限ります。

【出展内容】

出店ブース	活動PRの内容
あおぞら市広場	* 自家製の野菜や加工品、手作りの小物等の販売や地域食材を使った模擬店の出店による活動PR
体験・学びの広場	* 来場者に体験・参加いただく形式で活動をPR
展示の広場	* 作品展示やパネル展示等による活動PR

※お申込みについては、申請書をお渡し致しますので、下記までご連絡の上、お申し込みください。

【問い合わせ】 産業観光課 地域振興係 ☎0736-56-9001

# ごみの減量化、資源ごみの分別収集にご協力ください!!

本町では、収集により集められたごみを橋本周辺広域ごみ処理場に搬入し、ごみの処分を行っています。

ごみの処分には毎年高額を負担金が必要です。

負担金は、橋本周辺広域ごみ処理場に搬入したごみの量(重さ)により算出します。

生ごみの水切り等を行い、ごみの減量化に努めて下さい。

また、資源ごみ(アルミ缶、古紙類等)は有償で取引され売上金が本町に返金されますので、

**町指定の収集場所に資源ごみをお持ち下さいますようお願いいたします。**



## ◎高野町廃棄物量

種 別	平成27年度(t)	平成28年度(t)	
可燃ごみ	1,322	1,188	橋本周辺広域ごみ処理場搬入量
粗大ごみ(可燃)	51	37	
資源ごみ	293	256	
小 計	1,660	1,481	
不燃物(埋立ごみ)	170	39	高野町不燃物処理場埋立処分量
総 量 計	1,836	1,520	

## ◎橋本周辺広域ごみ処理場(広域市町村圏組合負担金及び返還金)

年度	橋本周辺広域ごみ処理場搬入量(t)	橋本周辺広域ごみ処理場(広域市町村圏組合負担金)(円)	資源ごみ取引量(t)	高野町返還金(売払い金額)(円)
平成28年度	1,481.0	83,571,000	239.0	2,550,120

## ◎資源ごみ種別 取引額及び取引量

年度		鉄類	スチール缶	アルミ缶	無色ビン	茶色ビン	ペットボトル	古紙類等	合計
平成	数量(t)	19.9	6.3	5.8	27.0	19.2	9.4	151.4	239.0
28年度	金額(円)	90,425	94,090	688,149	11,360	10,340	298,803	1,356,953	2,550,120

## ◎橋本周辺広域ごみ処理場(エコライフ紀北)からのお知らせ


### プラスチック製容器包装のリサイクルについて

皆さんに分別していただいた「プラスチック製容器包装」は「公益財団法人日本容器包装リサイクル協会」に引き渡し、リサイクルをしています。

それにより、安定的なリサイクルができるとともに、容器包装の製造会社などと市町村が一緒に負担する事となり、より効率的なリサイクルを行うことができます。(平成28年度では費用の99%を製造会社が負担しました。)

そのためには、汚れた物や異物を入れないなどの毎年の品質検査に合格する必要があります、もし不合格の場合は引き渡しができなくなる可能性があります。

今後とも協会でのリサイクルを維持していけるよう、プラスチック製容器包装の分別についてご理解とご協力をお願いします。

※プラスチックの中で、 プラマークの付いたトレイやパック類などを、「プラスチック製容器包装」といいます。(汚れたものはもえるごみです。)

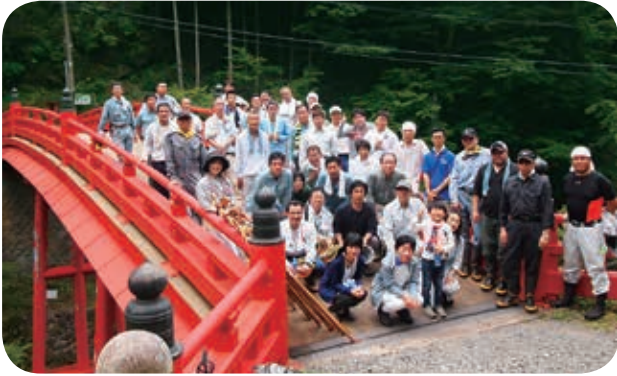
【問い合わせ】生活環境課 環境衛生係 ☎ 0736-56-3760



## 7月8日 第16回「極楽の森をよみがえらせよう！」

7月8日(土)に第16回「極楽の森をよみがえらせよう！」ボランティアを開催し、一般の方20名を含む57名の方に参加していただきました。

参加したみなさんで草刈りを行い、極楽の森を整備した後は、木工細工体験で記念となるストラップ作りを楽しみました。



## 6月23日 高野山こども園でタンク車の写生会を開催

6月23日(金)、高野山こども園で消防車の写生会を行いました。展示した消防車は、今年3月に納車された最新鋭のタンク車です。

色々な種類の資機材取扱訓練や、大量の泡で消火を行う泡放射訓練なども見てもらいました。

園児たちは、近くで見るタンク車の迫力に圧倒されながらも、大きな画用紙にしっかり描こうと真剣な眼差しで取り組んでくれました。



## 7月11日 笑いヨガ体験講座

平成29年7月11日(火)、まちかどサロン～<sup>えん</sup>縁～において、笑いヨガ体験講座を開催致しました。

笑いヨガ(ラフターヨガ)とは、「笑いの体操」と「ヨガの呼吸法」をあわせた健康法で、笑いながらヨガのポーズを取るわけではなく、子どもからお年寄りの方まで、年齢に関係なく、誰にでも簡単にできる楽しいエクササイズです。

講師のラフターヨガインターナショナル認定ティーチャー 宮澤めぐみ先生指導の下、昼の部7名、夜の部9名(内 途中飛び入り参加の外国人2名)の参加がありました。

何気ないことを想像しながら、又は動きながら、ジョークやユーモアに頼らない理由なく「ただ笑うだけ」なのですが、笑うことで知らない間に自然な笑いに変わっていく不思議な効果を感じました。

思い切り笑った後は、静かな音楽を聞きながら寝転んで瞑想し、心身ともにリセットしていきました。

参加者の大半の方が、最近笑う機会が少ないということでしたが、講座を通じて「笑う」ことの効用や大切さを認識する良い機会になりました。





## 高野町青少年センター補導員表彰



平成29年6月26日(月)、平成29年度高野町青少年センター補導委員会にて補導員表彰を行いました。

永年にわたる高野町の青少年健全育成に寄与された功績を称え、高野町教育委員会表彰規程に基づき、受賞されました。

今回、受賞されたのは、文化通り 山口 幸一氏、中の橋 平田 守良氏、中の橋 上江 良幸氏、東小田原 林 五郎氏(表彰式は欠席)、玉川通り 西辻 政親氏(表彰式は欠席)の5名です。

今後も引き続き青少年の健全育成に、益々ご活躍されることを祈念します。

## 内モンゴル児童生徒と高野山小中学校児童生徒が交流

7月18日～20日に内モンゴルより小学生6名、中学生2名が「中日友好科学教育研学旅行」の一環として高野山に滞在しました。

7月19日には、高野山小中学校児童生徒との交流をメインに高野山散策、日本伝統文化体験(高野紙すき・和太鼓)、夜は天体観測と高野山での充実した一日を過ごしました。

児童生徒の交流においては、高野山小中学校の積極的な協力により、中学校では3年生の英語・数学の授業に加わり、一緒に問題を解くなど初対面とは思えないほど溶け込んでいました。

小学校では、各学年の授業を参観した後、5・6年生児童と一緒に給食を食べ、午後からは体育館で高野山小学校の児童から歌の披露、そしてモンゴルの児童生徒からも訪問した感想や特技の披露を行った後、みんなでゲームやドッジボールと予定していた時間を忘れるほど夢中になっていました。

短い時間でしたが、双方とも思い出に残るとてもいい交流ができたと思います。

高野山の子ども達にとっても同年代の外国人と接することで刺激を受け、国際的な視野を持つひとつのきっかけとなってくれば幸いです。



# 「救急の日」「救急医療週間」について

救急業務及び救急医療に対する皆様方の正しい理解と認識を深めるとともに、救急医療関係者の意識の高揚を図ることを目的に、毎年9月9日を「救急の日」、又、救急の日を含む一週間（日曜日から土曜日）を「救急医療週間」と定められています。

昭和57年から始まり、毎年、日本全国で救急にかかわる様々な取り組みが実施されています。

高野町消防本部はこの期間に限らず、随時、応急手当を学ぶ救命講習会を一人から受付しています。

突然の事故や病気が起こった際に迅速な119番通報、適切な応急手当を速やかに実施していただく

るよう、是非、救命講習会を受講しましょう。

また、すでに受講された方も3年ごとの再講習をお勧めします。

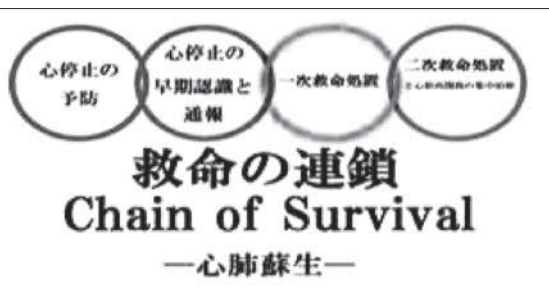
尚、高野町消防本部では上級救命講習は実施して

りません。

【問い合わせ】

高野町消防本部 警防係

☎0736-56-0119



## 9月1日は「防災の日」

～はじめよう！身近な防災。天災は忘れた頃にやってくる～

9月1日は「防災の日」です。この日は、大正12年に関東大震災が起きた日であることから、「災害への備えを怠らないように」との戒めを込めて防災の日と定められました。皆さんも、いつ地震・風水害の災害が発生しても慌てず対処できるように、防災への備えと関心を持ちましょう。

### ◎日頃から備えよう

#### ●地域ぐるみの防災対策

「5社」といふべきに頼りになるのが、隣近所の方です。日頃から地域のコミュニケーションを大切にしましょう。

#### ●避難場所、避難経路の確認

最寄りの避難場所と避難経路を確認しておきましょう。

#### ●非常時の物品、非常持出品・備蓄品などの準備

停電に備えて懐中電灯やラジオを用意しましょう。

また、食糧品などの非常持出品・備蓄品などを準備しておきましょう。

### ◎台風18号に備えよう!!

平成25年9月の台風18号では、町内に家屋浸水被害がありました。

ご家庭では台風情報に注意し、早め早めの対策をお願いします。

●危険を感じたら、迷わず早めに避難することが大切です!!

●逃げ遅れた場合は、2階などで山側と反対の安全な部屋に避難しましょう!!

●大雨に備えて「土のう」が必要な方は、役場または富貴支所までご連絡ください。

町民の皆さんの一人一人の日頃の取り組みが大切です。今日からできる防災・減災対策を実践しましょう!!

【問い合わせ】

防災危機対策室

富貴支所

☎0736-56-9911

☎0736-53-2301

## 高野町消防団 活動報告

### 林野火災消火訓練を振り返って。

住民の生命と財産を守るための活動として、林野火災消火訓練を去る6月4日に実施し、それに伴い振り返りの意見交換と図上訓練を7月4日に行いました。

本年は、第3分団木村分団長が中心となり富貴地区で林野火災消火訓練を行いました。

第3分団に加え、中西消防長以下高野町消防職員の方々と、大前分団長率いる第1分団、古家分団長率いる第2分団、女性消防団員の高野町消防団員が日頃の訓練の成果を発揮し、火点に向け機敏な連携行動による放水は実火災さながらでした。訓練後、山口副団長から、有事にはさらに効率よく放水・消火ができる様、今後も訓練に励むようにとの講評がありました。

また7月4日には、高野町消防署倉本署長を招き、第1分団大前分団長を中心に第1分団各部を指揮する、第1部道上部長・辻副部長 第2部西本部長・中本副部長 第3部鳥山部長・山口副部長が有事に備え、地域の安全と即時行動を高めるためにと意見交換と図上訓練を実施しました。

今後も消防団員の迅速な行動と災害対応力を向上させ地域の安全を確保致します。

高野町消防団本部

- 団長 中前
- 副団長 大西
- 副団長 山口
- 副団長 梶部

【問い合わせ】 高野町消防本部

☎0736-56-0119



# ごみ袋無料引換えはお済みですか？

◎この事業には、高野町に頂いた「ふるさと納税」を活用しています。

7月上旬に配布しました、ごみ袋無料引換券の引換期間は、平成29年10月31日までとなっています。引換え期間を過ぎると交換できません。

まだ、引換をされていない方は、取扱店舗（店舗一覧表は引換券同封）にて、お早めに交換をお願いします。



【問い合わせ】生活環境課 環境衛生係 ☎0736-56-3760

## 新しい農業委員が決まりました！

任期満了により、議会の同意を得て高野町長が9名の農業委員の方を任命しました。

また、農地利用最適化推進委員2名の方も就任されました。臨時総会にて、会長に柳 葵氏、会長職務代理者に下名迫勝實氏が就任しました。

### ◎農業委員会とは

農業委員会は「農業委員会等に関する法律」に基づいて、町に設置が義務付けられている行政機関で、農業者によって選ばれた農業委員を中心に構成される合議体の行政委員会であり、毎月開催される定例総会で農地法に基づいて、農地の売買・転用等の審議等を行っています。

その他にも、農地のパトロールや研修会等、農業に係る業務を行っています。

### ◀農業委員▶

氏名	担当地区
柳 葵	桜地蔵・成金他
下名迫 勝 實	共立・下天神他
梶 谷 廣 美	新生・桑原他
井 阪 晴 美	馬場手・松岡他
井 阪 征 郎	上馬場・上稲葉他
森 脇 伸 宜	筒香
西 辻 政 親	高野山・相ノ浦他
井手上 治 己	細川・西郷
上 田 静 可	花坂・湯川

### ◀農地利用最適化推進委員▶

氏名	担当地区
眞 野 弘 和	細川・花坂・高野山他
佐 藤 麻由子	富貴・筒香

【問い合わせ】農業委員会事務局（産業観光課） ☎0736-56-3443

## 中央公民館

# 図 書 室 だ よ り

### イベントのお知らせ

9月23日(土) 14:00より、高野町「まちかどサロン～<sup>えん</sup>縁～」でボランティアの方による『よみきかせの会』を開催します。幼児から小学生向けですが、大人の方にもお楽しみいただけます。事前の申し込みは不要ですので、お気軽にお越しください。

### お知らせ

- 図書の購入リクエストを受付けております。図書室に入れてほしい本がございましたらお申込みください。
- 図書室を通じて県立図書館の本を取り寄せることができます。詳しくは係員におたずねください。(到着には日数がかかりますので、予めご了承ください。)

※図書の貸し出しはお一人5冊まで、期間は2週間です。



高野町中央公民館 図書室 担当：白濱早苗 ☎0736-56-2076



【問い合わせ】

高野山総合診療所

☎0736-56-2911

外国人観光客の皆様が旅行中に体調を崩された時、通訳者がいない場合に診療所から電話医療サービスに電話をかけ、スムーズに受診できるようにこのシステムを有効に利用し、よりいっそう、来訪者の安心・安全確保に努めてまいります。

国語（北京語）、韓国語、スペイン語及びポルトガル語の5言語です。



当診療所は、和歌山県医療通訳対象施設向け電話医療通訳サービスに登録しています。対象言語は、英語、中

診療所  
だより

電話医療  
通訳  
サービス

## 高野山大学学園祭「曼荼羅祭 2017」

### 物販・飲食ブース出店のお願い

高野山大学では下記の通り、学園祭「曼荼羅祭」を開催いたします。本年は地域の皆さまにも、ブース出店していただき、さらなる地域交流・活性化を図れればと考えております。皆さまのご出店をお待ちしています。出店するにあたっての詳細や注意、学園祭の詳細については公式ウェブサイトをご覧ください。

- ① 日 時：2017年11月3日(金・祝) 13:00～17:00  
11月4日(土)、5日(日) 10:00～17:00
- ② 場 所：高野山大学 黎明館前広場（高野町高野山 385）
- ③ 内 容：餅まき、カラオケ大会、ビンゴ大会、音楽ライブ、声優トークショー、お笑いライブ、美坊主コンテスト、女装・男装コンテスト、出店ブース など
- ④ 書類配布：高野山大学事務所受付、曼荼羅祭公式ウェブサイト上で配布・公開
- ⑤ ウェブサイト：<http://koyasan2017.com>

公式サイト



【提出先・問い合わせ】高野山大学 学園祭運営局(担当：島田)  
〒648-0280 和歌山県伊都郡高野町高野山 385  
TEL.0736-56-4582 FAX.0736-56-2746(代)

## 人権擁護委員の委嘱について

平成 29 年 7 月 1 日付で法務大臣から人権擁護委員として  
高野町大字中筒香 新谷 千津子 様 が再任されました。(任期は 3 年)

# 9月の消費生活相談会のお知らせ

日 時：9月12日(火) 13:00～16:00まで

場 所：高野町役場 1階住民ホール

相談内容：消費生活に関する心配事や悩み事、クーリングオフ、訪問販売、悪質リフォームなど

※専門の相談員が対応します。電話での相談も受けけます。

**相談は無料で秘密は厳守します**  
**毎月第2火曜日に開催しています**

高野町相談会の日以外も対応します。

紹 介：和歌山県消費生活センター(和歌山ビッグ愛 8F) ☎ 073-433-1551

【問い合わせ】総務課 消費生活相談係 ☎ 0736-56-3000



## 「全国一斉『高齢者・障害者の人権あんしん相談』強化週間」を実施します！

期 間：9月4日(月)から9月10日(日)までの7日間

時 間：8:30～19:00まで

ただし、土・日については、10:00～17:00まで

ナビダイヤル せろせろみんなの ひやくとおぼん

電話番号：0570-003-110(全国共通)で、相談を受け付けます。

(※ PHS 及び一部 IP 電話からはご利用できない場合があります。)

相談内容：高齢者や障害者に関する人権何でも相談

相談は無料で秘密は厳守します。

法務局員又は人権擁護委員が相談に応じますので、日頃の悩みごとなど一人で悩まずお気軽に御相談ください。

ご不明な点がございましたら、下記までお問合せください。

【問い合わせ】和歌山地方法務局・和歌山県人権擁護委員連合会 ☎ 073-422-5131



### 後期高齢者医療制度に加入されているみなさまへ

8月下旬から9月上旬にかけ、ジェネリック医薬品を使用した場合、1か月の自己負担額が200円以上軽減される可能性がある方を対象に

## ジェネリック医薬品使用促進のお知らせを送付しています


このお知らせは、現在処方を受けているお薬をジェネリック医薬品に切り替えた場合に自己負担額が軽減できることをお伝えするもので、切り替えを強制するものではありません。

患者負担の軽減や医療保険財政の改善のため、ジェネリック医薬品の使用をご検討ください。

お薬によっては、ジェネリック医薬品への切り替えができない場合もあります。

切り替えを希望される方は、かかりつけの医師又は薬剤師にご相談ください。

【問い合わせ】

後発医薬品利用差額通知コールセンター  0120-53-0006(通話無料)

和歌山県後期高齢者医療広域連合

和歌山市吹上2丁目1番22号 日赤会館9階 ☎ 073-428-6688

# 「働きたい」を応援します!! (相談・利用無料、秘密厳守)

就労に関する悩みを抱える無業の若者(15~39歳)に寄り添いサポートします。

適職検査、興味検査で、自分に合った職種を見つけましょう。

履歴書作成、面接練習等、就職活動を全面的にバックアップ!

コミュニケーションワーク、パソコン講座、ビジネスマナー講座、職場体験・見学等、各種プログラムを活用してスキルを身に付け、就労を目指します。

## 高野町サポステ出張相談会

【日時】 毎月第3金曜日

9月15日(金) 13:00~16:00

【場所】 高野町まちかどサロン ~縁~

(高野町高野山 388-6)

ご予約の方は、右記連絡先または高野町福祉保健課 (☎0736-56-2933) までお電話下さい。10月以降の日程や詳しい内容についてもお気軽にお問い合わせ下さい。

### サポステ支援を経て就労したケースの一例

#### ■織物製造会社勤務A君

5年間ひきこもり状態だったA君。息子の将来を心配した母親が本人を伴いサポステに相談。就労相談・イベント(パソコン教室、自己理解セミナー等)への参加や職場体験を通して自信をつけ、支援開始6か月後、現会社でアルバイトとして働き始めました。その後、本人の努力を認められ、正社員に登用され、現在も元気に働いています。

#### ■介護福祉施設勤務Bさん

人前で話すことが苦手なBさんは、「面接でうまく話せないのではないか」という不安がありました。知人の勧めでサポステにて相談を開始。マナー講座、面接練習を経て3か月後に就職決定し、現在アルバイト就労中です。

### 【問い合わせ】若者サポートステーション With You きのかわ

〒648-0073 橋本市市脇1-1-6 JA橋本支店ビル2F  
TEL: 0736-33-2900 FAX: 0736-33-2910  
サポステきのかわは厚生労働省と和歌山県の共働事業です

## 高野町地域包括支援センターよりお知らせ

○高野町役場にて相談を随時受け付けています。誰に相談すればいいかわからない高齢者の問題や、ちょっとした疑問などなんでもかまいません。ご相談のある方は、高野町役場にお越しいただくか、もしくは電話にておたずねください。

○こんな場合は地域包括支援センターへご相談ください

- ・介護保険のサービスを利用したい(ヘルパー・デイサービスなど)
- ・最近物忘れが激しい家族がいる
- ・家族の介護に疲れた
- ・近所に住むお年寄りが家族から虐待を受けている様子がある などなど

【問い合わせ】 地域包括支援センター(高野町役場内) ☎0736-56-2933

# 子育て支援センターだより

9月の  
予定

5日(火)	13日(水)	19日(火)	27日(水)	29日(金)
散歩 10:00~11:00	園庭あそび 10:00~11:00	3B体操 10:00~11:00	高野山集会場 10:00~11:00	みんなの集い 10:00~11:00

日時 月曜日~金曜日(祝日・年末年始・警報発令時はお休みします)

9:00~14:00 ※申込は不要です ※時間内の出入りは自由です

場所 子育て支援センター(高野町保健福祉センター内)

持ち物 水筒、タオル、着替え

お願い 子育て支援センター内での事故やケガにつきましては保護者の方の責任でお願いします。

【問い合わせ】 子育て支援センター ☎0736-56-3938

### 9月の健康づくり便り

#### こどもの健康づくり

健康診査・相談	乳幼児健診の対象児		健康相談の対象児		実施日／会場
	4ヶ月児	H29年 5月生れ	4ヶ月児	H29年 6月生れ	
6ヶ月児	H29年 3月生れ	6ヶ月児	H29年 4月生れ		
10ヶ月児	H28年11月生れ	10ヶ月児	H28年12月生れ		
1歳6ヶ月児	H28年 1月生れ	1歳6ヶ月児	H28年 2月生れ		
3歳6ヶ月児	H26年 1月生れ	2歳6ヶ月児	H27年 2月生れ		
		3歳6ヶ月児	H26年 2月生れ		

#### 大人の健康づくり

健康相談	会場名	実施日時	備考
		高野山多目的集会所	5日(火) 14:00～15:00
	高根集会所	7日(木) 10:00～10:30	
	杖ヶ藪 龍福寺	7日(木) 13:30～14:00	
	桜茶屋(秋月様宅)	11日(月) 12:30～13:00	
	西郷集会所	11日(月) 13:15～13:45	
	湯川集会所	13日(水) 10:00～10:30	
	大滝集会所	13日(水) 14:00～14:30	
	西細川集会所	14日(木) 9:30～10:00	理学療法士が同行します。
	東細川多目的集会所	14日(木) 10:30～11:00	理学療法士が同行します。
	神谷多目的集会所	14日(木) 10:00～10:30	10:30～生活リハビリ(500円) 理学療法士が同行します。
	中の橋老人憩いの家	20日(水) 13:30～15:00	
	下筒香集会所	21日(木) 9:30～10:00	
	上筒香集会所	21日(木) 10:20～10:50	
	(旧)筒香小学校	21日(木) 11:00～11:30	
	相ノ浦集会所	25日(月) 10:00～10:30	

※保健師による相談と簡単な健康チェック(血圧測定、検尿等)を行います。

【問い合わせ】福祉保健課 健康づくり係(保健師) ☎0736-56-2933

#### 集団検診のご案内

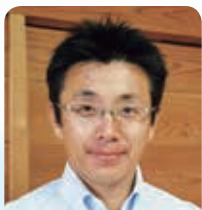
検診名	対象者	受診料	実施日／会場
特定健診	40～74歳の国保加入者 (および社会保険の被扶養者)	500円	10月12日(木) 高野町保健福祉センター  (受付時間 8:30～11:00)
	※協会けんぽや共済組合等の被扶養者については、事前に加入保険宛てに受診申込みをする必要があります。 ※国保加入者で集団検診において特定健診を受診された方にはゴミ袋を差し上げます。		
肺／胃／大腸がん検診	40歳以上の高野町住民	無料	
子宮がん検診	20歳以上の高野町住民	1,000円	10月12日(木) 高野町保健福祉センター (受付時間 13:30～15:00)
乳がん検診	30歳以上の高野町住民	2,000円	

受診をご希望の方は、郵送した案内書に附属の申込ハガキのご利用、もしくは、高野町役場(☎0736-56-2933)までお電話をお願いします。

【問い合わせ】福祉保健課 健康づくり係 ☎0736-56-2933

#### 高野町の人口 (7月末日現在)

◆人口 3,164人(前月比-13) 男 1,530人/女 1,634人 世帯 1,702戸(前月比-3)  
 ◆出生 1人 ◆死亡 10人 ◆転入 6人 ◆転出 10人



### 9月号のメッセージ

高野町長 平野 嘉也

残暑お見舞い申し上げます。皆様におかれましては、お変わりなくお過ごしでしょうか。

この9月号のメッセージを起こしている今は8月14日。前日に執り行われた「高野山万燈供養会」、一第44回ろうそくまつりも曜日巡り、近年の高野山人気や天候に恵まれるなど様々な好条件で多くの参拝者、観光客で賑わいました。町の人口の10倍近いお客様を迎える中、大きな事故もなく各方面でおもてなしをして頂きました全ての皆様に感謝申し上げます。私も中の橋駐車場前のテントでスタッフの一人として関わることが出来たのですが、外国人への案内をはじめとする対応が年々増加しているのを肌で感じます。町としては日本人同様に情報を伝えることが出来るように、観光情報アプリ(高野山ナビ)等の便利アイテムも活用してもらえるように、使いやすい・分かりやすい内容にしないとダメだと改めて感じました。一つひとつ前進出来るようすすめていきます。

さて前月号では町の人口に少し触れましたが、今は現状をもう少し説明したいと思います。平成27年度の平均高齢化率は全国が30.9%、和歌山県が32.3%であり、その中で高野町は43%。高野町を3地区に分けて高齢化率を出すと先月末現在では高野山地区が36.2%、高野山周辺地区が55.1%、筒香・富貴地区が67.4%となっています。この3地区の課題は同じ町内でも様々ですが、とにかく生産年齢人口(15歳から64歳)を増加あるいは維持しなければ、結果年少人口(0歳から14歳)に直撃します。

生産年齢人口の維持または増加のきっかけになればと前月号では保育、就学前教育、義務教育の高野町版完全無償化を説明しましたが、高齢化率でも出ているように高齢者への対応も国や県そして町として引き続きしっかり取り組まなければいけません。その中で独自の対策として検討中なのが町内の交通弱者への対策です。公共交通機関(本町では主に南海りんかんバス、有鉄バス等)が入っている路線に対して国の制度上コミュニティバスが走ることができないなか、新規事業として交通弱者の皆様に対して社会活動の範囲を広げる為の助成制度ができないものか福祉の観点から今検討中であり。秋頃には新たな政策として始めたいと思います。

そして、今年度も9月議会以降にタウンミーティング(行政報告会)を始めます。今年で4回目になりますが、昨年より沢山の方がお越しになられることを心よりお待ちしております。主に29年度の動きを中心に、直接住民の皆様との意見交換・交流を持たせて頂きたく思いますのでよろしくお願いいたします。日程に関しては改めて回覧等でお知らせいたします。

まもなく本格的な台風シーズンに入ります。町全体で「そなえよつねに」の精神でこの秋も乗り越えようではありませんか。朝晩は昼間と違い冷え込むことの多い時期、皆様におかれましては体調を崩されませんようご自愛くださいませ。



### 足りていますか? 「睡眠時間」

夏の暑い間、十分に睡眠はとれていますか?夏休みでついつい夜更かししていたり、仕事や勉強、SNSの利用で眠るのが遅くなるというようなことはないですか?人は睡眠することによって脳と体を休めます。睡眠時間が短く「睡眠時間が足りていない」ことを「睡眠不足」といいます。睡眠時間と人の体の事を研究している人たちは「睡眠負債」といいます。これは、脳と体に眠りが足りていない「借金」をしている状態だそうで、この借金を返せないまましていると体への負債がどんどん膨らみ脳と体が「自己破産」してしまい、思うように動かなくなるのです。普通の睡眠体質を持っている多くの人の場合、睡眠時間が7時間を切ると「睡眠負債」が発生するようです。平日の睡眠時間が5時間を切ると週末の寝坊でも目覚めのリズムでなかなか「負債」は返せないようです。



#### 「睡眠不足」の兆候

- 電車にすわっていたり、昼食後の休憩時間にボーっとしていると、眠気を感じて居眠りをしてしまう。
- 日中はコーヒーやたばこなど、何かないと頭や体をシャキッと保つことができない。
- 毎夜、布団に入るなりあっという間に寝落ちしてしまう。ボタンキュー状態。
- 運転中に信号待ちなどでふっと眠気に襲われることが頻繁にある。

心当たりが、どれかにあるようでしたら、少しでも休めるように何らかの対策が必要です。例えば、毎日の睡眠時間をなかなか増やせない人は、休日の午前中はなるべく予定を入れないようにして朝寝坊をしてみてください。月曜の朝にはすっきりした脳と体で活動を始めるかもしれないですよ。

6~8時間の睡眠時間をとれるように労働時間や趣味の時間 SNSの利用なども見直してみるのも、睡眠時間確保につながりますよ。

【問い合わせ】福祉保健課 健康づくり係 保健師 ☎0736-56-2933